

ヒール・ミヤイの アメリカ・ツアー



ヒール・ミヤイ氏が2年ぶりにアメリカ本土へ上陸した。そこで見たことや感じたことを寄稿してくれた。バージニア州のアーリントン国立墓地とカリフォルニア州のローズ・ヒル墓地については5月号のコラムにも書いているので合わせて読んでいただきたい。
写真・文/ヒール・ミヤイ



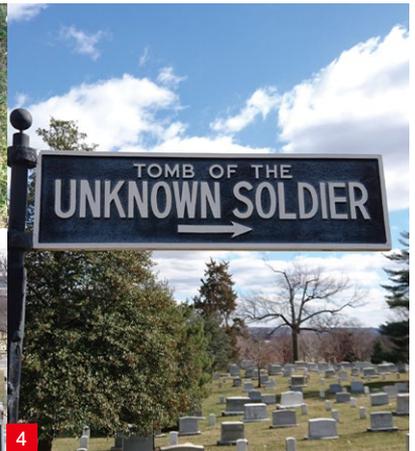
1



2



3



4



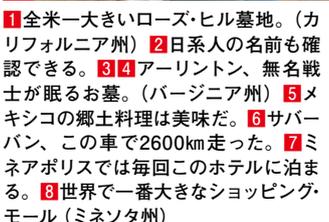
5



6



8



7

1 全米一大きいローズ・ヒル墓地。(カリフォルニア州) 2 日系人の名前も確認できる。3 4 アーリントン、無名戦士が眠るお墓。(バージニア州) 5 メキシコの郷土料理は美味だ。6 サバーバン、この車で2600km 走った。7 ミネアポリスでは毎回このホテルに泊まる。8 世界で一番大きなショッピングモール(ミネソタ州)

今回のアメリカ行きは、2年ぶりにLAの友人に会い、ミネソタでの普及所・大学の勉強会に参加、ジョンディアのディアの取引先販売店訪問、現地の生産者と情報交換、ケンタッキー州・ルイビルでの農業機械展を訪れることだった。

LAはなんといっても暖かい。訪れた2月上旬でも日中は半そでになることができるし、上を見上げれば、どうだこの野郎とばかりに青い空から降り注ぐ太陽はカリフォルニアを満喫することができる。子供たちがグランパ、グランマと呼んでいた日系2世の墓参りも済ませた。

40年来の知り合いの所では日本食がメインになるが、外に出ると半島系の悪口を言いながらコリアンフードに舌鼓を打ち、地域住民の半分がアミーゴになって雰囲気が悪くなったと言いがら、日本ではお目にかかったことがないメキシコの田舎料理をたいてしまうことができるのが世界の民が集まるアメリカ文化の象徴なのだろう。

今回ツアーに参加した4名が再集合した日にセスナ172を貸し切り、LA近郊の農場であったり、灌漑施設を眼下に見ることができ、改めてアメリカ農業のスケールの大きさに圧倒されることになる。

暖かいLAから極寒のミネソタに



9



10



11



12



13

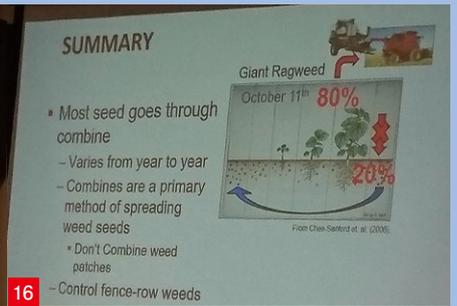
9これがトランプ・ホテルか、行きたかった。1020年前はなにもなかったのに。11眼下には住宅と、酪農家が混在している。12LAXから1時間でこの大平原はすごい。13セスナ、最新式は180馬力ある。



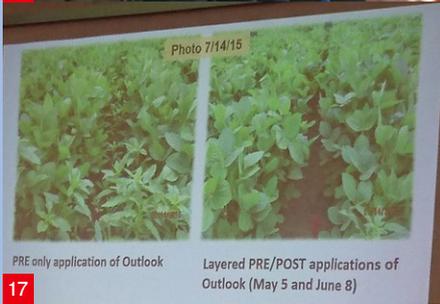
14



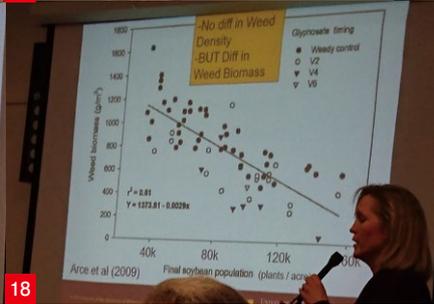
15



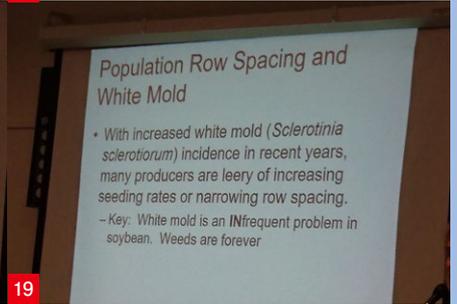
16



17



18



19

14農業の勉強会に参加。15雑草が広まらない為に残渣物をすぐロールするらしい。16雑草は翌年にも引き継がれる、イヤなやつだ。17除草剤の選択を間違えると大変だ。18大豆の播種量と雑草は関連がある。19播種量が増えると特定の病気が増える？

向かった。今年はかなり寒いと聞いていたが、訪れた2月上旬は2年前に訪れた時よりも暖かい25℃だった(マイナスは付くが)。日中はマイナス10℃とやはり暖かく感じた。

レンタカーは8人乗りのシエビー・サバーバンだ。ローカルで移動するのだったら前輪駆動車でも良かったが、その後もっと北のファーゴへ行くので冬道での四輪駆動車の選択は必然である。ミネソタ最大の都市ミネアポリスを出発して3時間ほど西に走ると人口2000人のフェアモントに到着する。翌日の大豆生産者勉強会の主催はミネソタ大学と州の普及所だ。200名くらいの生産者が集まり9時には勉強会は始まった。日本と違いコーヒープレイクを挟んで昼まで続いたが勉強会中はムダ話はなし、ガチ真剣そのものだ。

畑雑草のアカザ：50%：2年、一度雑草が生えると元に戻すのに10年かかる。中国へ大豆を輸出する場合のFOB(大豆以外のきょう雑物)は○%以下。日本では問題になっていないW○○M○病はどのように対応するべきかなど。意地悪のつもりはありませんが○や…は書きません。私はお金を払ってアメリカに勉強しに行ったのですから。

皆さんもアメリカからたくさん学んでくださいね♡ (つづく)